

令和 8 年 9 月 吉日

(各 位)

ダム工学会長

令和 8 年度 ダム工学会東北地区 現場研修会開催のご案内

拝啓、時下ますますのご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、ダム工学会の令和 8 年度現場研修会を、下記のとおり開催することと致しました。皆様各位のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

- ・ 日 程 令和 8 年 10 月 6 日（火） （日帰り）
（集合場所および集合時間は【別紙－１】参照）
- ・ 見学場所 東北地方整備局 烏海ダム工事事務所
- ・ 募集人数 【別紙－１】のとおり
- ・ 参加申込 ダム工学会 HP より申し込み（令和 8 年 9 月 25 日（金）〆切）
- ・ 参 加 費 一般※：（ダム工学会員 1,000 円、非会員 2,000 円） 学生：無料

※ ダム工学会賛助会員 (http://www.jsde.jp/link/link_11sanjyo.htm)

に所属している方は、ダム工学会員扱いとなります。

（ただし、集合会場まで及び解散場所後の交通費は各自負担）

その他、昼食費として、参加費以外に別途（千円程度、調整中）
ご準備をお願い申し上げます。なお、おつりが無いよう、ご準備頂けると助かります。

- ・ 主催 一般社団法人 ダム工学会
- ・ 共催 （公社）土木学会岩盤力学委員会

問い合わせ先 ダム工学会 活性化推進小委員会 東北ブロック幹事

西松建設（株）北日本支社

浅沼 秀雄

E-mail. hideo_asanuma@nishimatsu.co.jp

TEL. 080-1672-0910

募集内容

- ・ 募集人数 20 名（ダム工学会員及び非会員 定員になり次第締切り）
- ・ 申込期限 **令和8年9月25日（金）午後5：00**
- ・ 申込方法 ダム工学会 HP より、所定事項をご記入のうえ申し込み願います。
- ・ 申 込 先 ダム工学会 HP

<https://forms.gle/J82CRuCcUmbNJFtg9>

※10月5日(月)に with Dam Night を開催予定です。

鳥海ダムの施工現場の見どころも紹介予定ですので、奮ってご参加ください。

with Dam Night の応募はこちらから <https://forms.gle/BDiXHAcXr476dS9N6>

1. 集合場所 令和8年10月6日（火）7：30 仙台駅東口バスプール（下図参照）



当日緊急連絡先:090-7124-0152（権神 侑貴）

2. 解散場所 令和8年10月6日（火）19:30 ごろ 仙台駅東口 バスプール
3. 用意するもの 作業服(又はそれに準ずる服装)、雨天の際は雨具
(注)長靴、ヘルメットは可能な限り持参ください。ご準備できない場合は、貸し出しますので、申し込みの際にご記入ください。
4. 留意事項 交通状況により、解散時間が前後することがあります。ご了承ください。

行 程

時 間	内 容	備 考
現場研修会		
07:30	【集合】 仙台駅東口貸切バス駐車場	
07:45～11:15	【出発・移動】 ※道の駅 尾花沢 花笠の里ねまるで休憩 10 分 ※仙台宮城 IC～新主寝坂トンネル	
11:15～11:45	フォレスト鳥海 鳥海ダム工事事務所による事業概要説明 鳥海ダム JV 工事事務所による工事概要説明	(研修 0.5時間)
11:45～12:30	フォレスト鳥海 昼食(鳥海ダムカレー)、お土産購入	昼食後、ヘルメット・ 長靴受領
12:30～12:50	【出発・移動】	
12:50～15:30	【鳥海ダム工事事務所 鳥海ダム本体建設工事】見学西松・ 奥村・フジタ特定建設工事共同企業体 住所：秋田県由利本荘市鳥海町下直根字大谷地 29 番地	(研修 2.6時間) 見学後、ヘルメット・長靴 返却
15:30～19:30	【出発・移動】 ※鳥海ダム JV 工事事務所でトイレ休憩 ※道の駅おかち「小町の郷」で休憩 15 分 ※雄勝こまち IC～仙台宮城 IC	道の駅でお土産購入 も可 おかち：18 時まで
19:30	【到着】 仙台駅東口貸切バス駐車場	

※見学会は台風等荒天ではない限り雨天でも実施します。

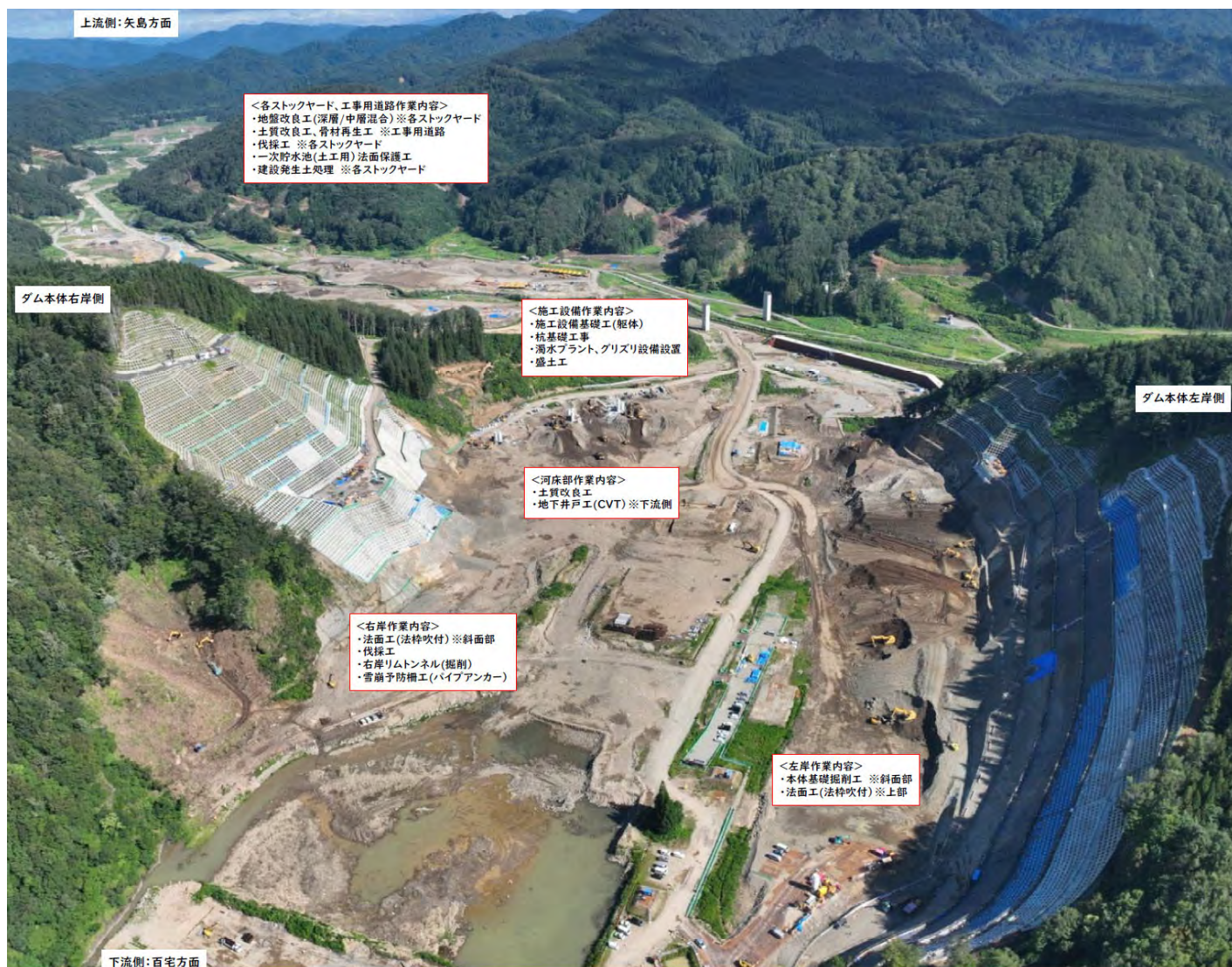
※中止の場合は、令和 8 年 10 月 5 日(月)AM10:00 までに参加者宛に事務局より連絡いたします。

※見学コースは現場状況により変更があります。

※本研修会は継続教育(CPD)プログラムとして、公益社団法人土木学会 技術推進機構より認定されています。(JSCE26-0999 3.2 単位)

当日参加証明書をお渡ししますので、ご自身で登録お願いいたします。

(参考) 鳥海ダムの工事進捗状況 (8月初現在)



ダム工学会活動に関する主旨（ダム工学会設立趣意書より抜粋）

ダム工学会は、国内における関連学協会はもとより、国際的な学協会及び研究機構との連携を図り、国際的な研究交流と協力においても先導的役割を果たすとともに、学者、研究者のみならず官界、民間の技術者にも広く参加・協力を求め、技術現場からの研究課題の発掘と研究成果の社会への速やかな還元を目指す。

以上の趣旨に基づき、本学会は、

1. 学際的かつ総合的研究を重視する。
2. 新技術の開発・応用など、創造的、先導的な研究を重視する。
3. 学際問題への適用を図るために、学、官、民の研究者、技術者の交流を促進する。
4. 国際的な交流と協力を積極的に図る。

を4つの柱として、ダム工学研究の向上発達を図ることを目的とする。具体的には、次のような活動を予定している。

1. 学術講演会、シンポジウム、現地見学会などの実施
2. 学会誌「ダム工学」の発行
3. ダム工学に関連する国内外の研究活動、会議等に関する情報の収集と伝達
4. 特定研究テーマに関する研究部会活動

（いくつかの研究部会を設け、横断的研究ならびに学、官、民の交流を推進する。）

ダム工学会地区活動について

平成17年6月20日開催のダム工学会第31回理事会において、地域ごとに学・官・民が情報交換できる機会を多く設けるため、ダム工学会の各地区活動を積極的に行うことが了承されました。

具体的には、各地区において現場見学会や技術検討会の開催等を行うことにより、地方在住の学・官・民の交流による情報交換、或いはダム工学の活性化を深めていくものです。